

「環境未来都市」構想推進協議会

平成 25 年度「民間活力による分散型エネルギー導入推進WG」活動報告

1. 参加団体

全 27 団体（平成 25 年 11 月 20 日現在）

うち、市町村：13、都道府県：3、関係省庁：2、政府関係機関：1、民間企業等：8

2. 開催実績

第 1 回会合 平成 25 年 11 月 20 日(水)、21(木)

於：飯田市、参加者：33 名(27 団体)

・プレゼンテーション

「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例と都市・地域エネルギー政策の意義」

(飯田市長 牧野 光朗)

・基調講演

「地域主導型再生可能エネルギー事業からの持続可能な都市・地域づくりの意義とその戦略」

(NPO 法人再エネ事業を支援する法律実務の会代表理事・弁護士 水上 貴央 氏)

・パネルディスカッション・参加者とのディスカッション

「ファイナンスを視点とする官民協働による分散型エネルギーの導入促進戦略」

(コーディネーター)

エックス都市研究所まちづくり社会システムチームマネージャー 長谷川隆三 氏

(パネリスト)

飯田信用金庫常勤理事 上沼 俊彦 氏

八十二銀行飯田支店執行役員支店長 佐藤 裕一 氏

NPO 法人再エネ事業を支援する法律実務の会代表理事・弁護士 水上貴央 氏

飯田市地球温暖化対策課長補佐 田中 克己 氏

・視察 平成 25 年 11 月 21 日(木)

行政財産を活用したメガソーラー事業「メガソーラーいいだ」

中心市街地における低炭素まちづくり「堀端ビルの見学」

3. 活動成果

「飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」を施行し、市民や民間事業者の活力によって、再エネによる持続可能な地域づくりの第一歩を踏み出した飯田市の取り組みを事例に、飯田市長と関係者によるプレゼンテーション、パネルディスカッションを行った。

自治体が国や民間企業と連携した再エネをはじめとする「分散型エネルギー」の導入による都市、地域づくりのあり方を、パネラー等の専門家と議論し、民間協力を活かした地域主導の再エネ事業のあり方、こうした事業へのファイナンスのあり方について共有することができた。

以 上